

新たな教育コンテンツ「Fish of the Month」の提供を開始

～海洋生物の先進学術情報を発信し SDGs や食資源生産問題解決などへの貢献に期待～

【概要】

北海道大学大学院水産科学研究院では、海洋生物に関する先進的な学術情報を発信する教育コンテンツ「Fish of the Month (FoM)」の提供を9月17日正午から開始します。FoMは、同研究院の教員が研究対象としている海洋生物たちの魅力を伝えるウェブコンテンツで、初回は昆布がテーマです。これは「バランスドオーシャン (BO)」事業に続き、同研究院で提供する二つ目の教育コンテンツです。BO事業と相互補完しながら、北大創基150年を迎える2026年度末までに、20種を超える海洋生物の魅力的で先進的な情報を提供します。FoMは、東洋水産株式会社・ヤマサ醤油株式会社・アサヒクオリティードイノベーションズ株式会社の支援のもとに進め、教育・研究の両面からSDGsの達成や食資源生産技術の向上などに貢献することを目指します。

【コンテンツ提供に至った経緯】

本学の「社会と大学をつなぐ双方向の広報」、「最先端の研究成果や教育コンテンツなどの大学情報の国際社会に向けての発信」などの目標のもと、同研究院では、令和元年から、大海原で実施される先端海洋観測の映像などをオンライン教材として活用し、海のトップサイエンティストを育成するBO事業を進めています。これに加え、地球環境や食糧問題がクローズアップされる今、世界規模課題の解決に欠かすことができない「海」と「海に生きる生物」に関する情報を国内外に広く発信する教育コンテンツを拡充するため、FoMを新たに開設するに至りました。FoMは、民間企業や本学水産学部図書館、総合博物館などと連携し、発展させる予定です。

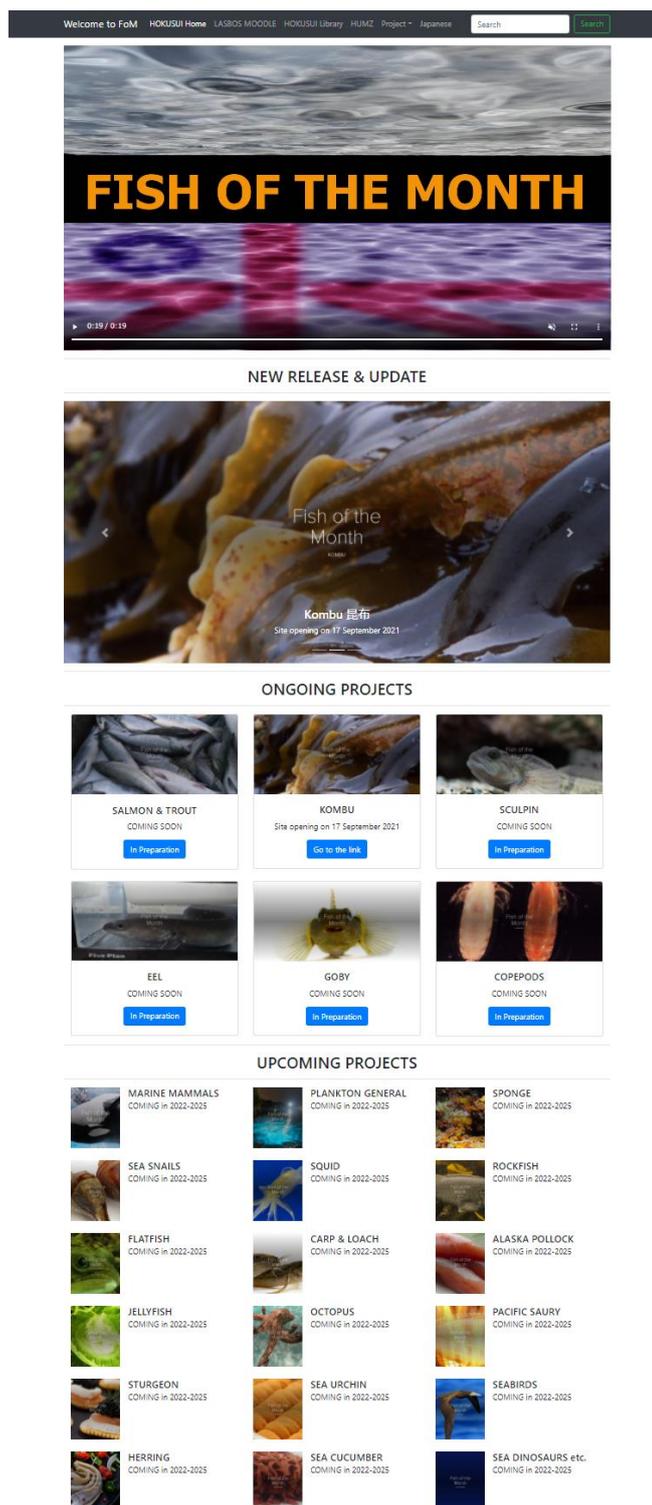
【内容・対象・意義】

内容：水産科学・博物学・生物学的に価値のある海の生物に関する先進かつ独創的な学術情報を、その旬に合わせて配信します。専門書などの公表だけで留まっていた魚の資源や食としての有用性、生物学や生態学的知見、増養殖に関する最新研究成果などを平易にまとめ情報発信します。初回は函館地域などで収穫時期を迎えた「昆布」です。昆布だしのうまみの秘密、昆布の生物学研究を通じて見えてきた北の海への適応戦略や持続可能な資源増産への糸口など、同研究院の教員や民間企業の研究で得られてきた知見を日本語及び英語で発信します。二回目は「鮭鱒」で、北海道で漁獲がピークとなる10月中旬に公開予定です。これ以降の公開間隔は約3か月です。

対象：一般・学生向け。無料。北海道大学水産学部・大学院水産科学研究院・水産科学院のホームページ(<https://www2.fish.hokudai.ac.jp/>)からFoMコンテンツにアクセスできます。

意義：コロナ禍で自宅時間が長引く中、私たちは自然の中で過ごし、自然から学ぶ大切さを再認識しつつあります。また、家族で食卓を囲む時間も増え、旬の食材を楽しむ機会も多くなったのではないのでしょうか。このような時であるからこそ、日本人の原風景としての「海」とその恵みを生かす魚食文化の貴重さを再認識し、これをさらに価値あるものに育てる好機になると考えています。「海」や「食」に関わる民間企業の協力を得ながら、海やそこに生きる生物たち、そして魚食文化の重要性など、FoMを通じて広く深く伝え、海と海が育む食資源の諸問題の解決に資する人材育成に貢献します。

FoM ウェブサイト（ポータル一部）の画面イメージ



お問い合わせ先

北海道大学大学院水産科学研究院 FoM 運用部

メール education@fish.hokudai.ac.jp

URL <https://www2.fish.hokudai.ac.jp/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

TEL 011-706-2610 FAX 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp